

(令和7年12月10日 午前9時18分 開始)

○議員（河野 禎明議員） おはようございます。何日か前から一般質問のことを考えているんですけど、その中で川南は面白いな、川南に民主主義は今あるのかなという疑問が浮かびました。なぜかと言いますと、去年、町長選がありました。今年、町議選がありました。あの町長選で中学校問題というのは、川南の一大の問題。前、2年前か3年前に中学校建設か反対かで大問題になった、あの大きな問題。あのことを何もおっしゃらずに当選した町長、町議、この人たちが今いらっしゃるわけですね。そして町長は、中学校統合計画案を議会に提案されました。選挙で何も言わないのに、中学校建設を進めようとする。ここが民主主義、不思議だなと思いながら一般質問の原稿を考えました。

通告に従い、一般質問を行いたいと思います。

1 番目、新中学校建設予定地について。

2 番目、中央保育所南側の芝生広場を早急にグラウンドゴルフ場にできないかということですね。

3 番目、5年後、10年後の生徒数を考えた小中一貫校を検討すべき。

4 番目、乗合タクシーの早期導入について。

5 番目、スマートインターと工業団地、P L A T Z（ぷらっつ）周辺への早急な整備について。

これをお伺いしたいと思います。最初から町長に詳しくお聞きしたいので、下の質問席でお伺いしたいと思います。

では、質問したいと思います。

新中学校建設予定地についてですが、あの場所は口蹄疫の慰霊碑、ふるさと公園、それから、今きれいな芝生があります中央保育所の南側ですね。町民にとっては楽しい空間なんですけど、それを奪って、そしてまたキャンプ誘致の影響も与えるような、あそこ中学校建設を今提案がされたんですけど、町長、これ本気で考えてるんですか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野禎明議員の質問にお答えいたします。

ただし、質問の表現に私は違いがあると思っております。町民の公園、花見広場、それからグラウンドゴルフ場、中央保育園南側広場を奪いということで表現されてますが、私は町有地の有効活用として捉えております。

学校建設の場所の変更を考えているかどうかということですが、教育委員会の考えを尊重したいと考えておりますので、ふるさと総合文化公園及び中央保育所南側広場につきましては、新中学校建設の中学校の予定地として考えております。

中央保育所南側広場につきましては、本年4月1日より一般利用を開始しております。

現時点では、ふるさと総合文化公園の一部として、川南町ふるさと総合文化公園の設置及び管理に関する条例に基づき御利用いただいております。新中学校の建設が始まるまでの限られた期間であります、町民の皆様に御利用いただきたいと考えております。

口蹄疫畜魂慰霊碑につきましては、本町で起こった出来事を記す大切な記念碑であるという認識を持っております。現在、記念碑はふるさと総合文化公園まで行かないと目にすることができませんので、多くの方に知っていただけるようなふさわしい場所へ移設することを検討したいと考えております。

また、中学校の整備がキャンプ誘致に影響を与えるのではと危惧されているようですが、そのようには考えておりません。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 町長はそうように考えられるのが当然だろうと思うんです。あなたは、商工会長のときから中学校建設に熱心な推進派でしたから、これは当然だと思うんですけど、よく考えてくださいね。ふるさと公園、町民の心のよりどころですよ。あなたは行かれないかもしれませんが、たくさんの方があそこに行ってますよ。公園として何十年もあそこで、何というんでしょうかね、ちょっと高台になってるから、やっぱり心のよりどころ。そして、口蹄疫の慰霊碑の前に立つと、あのことが思い出されます。15年前だったかね、長渕剛が来て、町民は口蹄疫で心はずさんでした。本当に町民は疲れ果ててました。そのときに長渕剛が来て、あそこで町民のために歌を歌ってくれたんです。それほどあの場所、私は川南に聖地があるとしたら、あそこが聖地だと思うんです。そして、後世にそのことを伝えるんです。伝えないといけないと思うんですよ。ほかのところに移して伝えるのは難しいですよ。簡単でないですよ。町長、あそのふるさと公園を保存して、後世に伝えるということを考えてくれませんか。どうでしょうか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の御質問にお答えします。

聖地という言葉、それからたくさんの方々、後世に伝えることが大切ではないかという御質問でした。私が考えるに、河野議員がおっしゃった、たくさんの方々がそこにお見えになる。私はまだ限られた方だけではないかなと。後世に伝えるということであれば、もっと適切な場所に移設することを考えたいと思っています。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 町長が、この前は委員会の意見を尊重するというので、ほとんどまともな返事はもらえませんでした、今日はちゃんと町長の考えを言われるということで、非常にうれしく思います。

あの場所は、日高町長のときだったか、スポーツランド構想があって、スポーツキャンプ、野球、サッカー。野球は社会人野球やら何チームも来て、高校野球、大学野球も来て、町の活性化に物すごい貢献をしました。今、あの中学校ができるという話を聞いた社会人チームが、前の竹乃屋の社長に電話を入れて、中学校ができたら私たちはキャンプに行け

ない。そういうことを伝えてます。あそこに中学校ができれば、キャンプに来ない社会人チームが出たり、いろいろ弊害があるんですよ。昨日も運動場整備の話でキャンプとかそういうこともちょっと出ましたが、中学校があそこにできれば、キャンプに来ないというチームが出てきたら困ると思いませんか。どうですか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の御質問にお答えします。

キャンプ誘致に影響を与えるのではないかという御質問ですが、今現在、数者の方々から、当川南町においてキャンプを執り行いたい、もしくは継続的に、また、この川南町でしっかりとキャンプをすることで、都市対抗野球に毎年出場できる。そういった構想を持っておられる方がいらっしゃいます。中学校の場所とキャンプの総合運動公園とは全く分離した、キャンプに対しての影響はないと考えてます。

また、高校、大学、総合運動公園が整備され、川南町のキャンプとしてホテル、会場、この利便性を考えたときに、多数の学校、また企業からも注目されてます。また、過去に都市対抗に出場されてました企業からも、ぜひ日程が合えば川南町でキャンプをしたい、そういうお言葉もいただいております。中学校建設とキャンプ誘致とは、私は別物と考えております。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 町長、考えが甘いです。今の社会人チーム、大学チームに、あそこに中学校ができるんですよということを伝えないと駄目です。知らないんですよ。知らないからキャンプに来ようとしてるんですよ。中学校建設計画が止まっているから。中学校ができると思ってないんですよ。そうでしょう。そう思いませんか。

○町長（宮崎 吉敏君） 確かに中学校建設の話については、今回12月の本会議で基本計画を提出。この後に、しっかりとそれぞれの方々、関係者には説明を行う予定です。このことが議題として出されない前に、事前に私のほうから説明ということはできないと考えております。

先ほど言いましたように、キャンプ誘致に関しては、総合グラウンド及び野球場の整備、室内競技場等の環境を踏まえると非常に魅力的。そういうお言葉をたくさんいただいております。今後、中学校建設がキャンプ誘致に影響を与えることはないと考えてます。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 中学校を建設するとなると、今、校舎だけの話、建物だけの話をメインに聞いてますね。校舎、体育館等で70億円とか。これ、武道館が入ってるかどうかちょっと分からないんですが。それに建設をするとなると、プールとか駐車場も考えると大分広い用地が要りますね。学校というのはそういうもんなんです。本当に私はこれ大変だと思うんです。例えば唐中を使うとしたら、妻でも串間でもそうですけど、今あるところに一部の校舎を建てたら済む話ですよ。だけど、あそこだと何もかも全部新しく造らないといけないんですよ。だから、70億というのが80億になるかも分からない。下

手すると周辺。もしかすると中央保育所の、これ邪魔になると。教育委員会の建物を壊したほうがいいのか。そういうことになったら、これは80億、90億、予算がちょっと考えられないほど、町に負担のかかる予算になりますね。これは、ほかの課長さんたちもこれは御理解いただけると思うんですよね。普通の金額では終わらないような事業なんです、この事業は。

町長は昨日の発言で、町民との対話を重要視してると言ってます。あなたは町民との対話をしなくて、この議会に中学校統合建設整備計画を提案したんですよ。あなた、町民と対話してなくてこれ出したんですよ。議会で言っていることとやってることが違うじゃないですか。返事ください。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の御質問にお答えします。

私がこれまで選挙も含めてですが、中学校教育問題を選挙の政争にすべきではない。私は一貫してここで述べさせていただいております。教育委員会の意見を尊重する。今回、今定例議会に基本計画が提出されました。このことをもって、これから様々な方々との対話、そういった場は十分提供していきたいし、設けていきたいと思ってます。決して対話ということに関しては、中学校問題だけではなく、川南町全般に対する町民の皆様を伺う。これは昨日の答弁でも言いました、私の準備、段取り等が今まで至らなかった。今後は中学校問題も含めて、様々な場所でいろんな方々と対話をし、理解を求めていきたいと思えます。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 町長の答弁が、私が考えているような答弁をいただいて、質問がやりやすいですね。

よく周りの自治体も見るとですけど、あそこは町民の運動場ですね。運動場、野球もほとんど町民が主体の野球場。町民を主体に考えてますね。そのそばに学校を造るわけですよ。よその自治体を見てください。どこかありますか、そういうところが。町民の運動場、公園のそばに学校を造る。そういう自治体がありますか。あったら教えてください。私が調べたら、ないです。なぜ川南だけ、町民が利用してる公園、運動場のそばに学校を持ち込んで、公園はなくなる。年配者が楽しみにしてるグラウンドゴルフ場もちゃんと確保されない。このことは大変なことだと思いませんか。よその自治体がこれやってると思えますか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野禎明議員の御質問にお答えします。

ほかの自治体がという御質問ですが、川南町にとって町有地の有効活用、また総合運動公園の隣接地ということですが、それは決して総合運動公園が全て中学校の利用に特化するということではありません。中学校としての大切な学びやであり体育館、それから運動場については、基本計画の中にしっかりと示して……、基本計画にはまだ具体的にはないですかね。今後、設計、計画の中で、しっかりと敷地内で校舎、体育館、グラウンドが整

備される。

ここで1つだけ申し置きたいことがあります。前の中学校統合を進める中で、議会において河野禎明議員がおっしゃるように、狭い、土地が少ないということで指摘をされ、また議会の承認を得て、今の中央保育所の南側の土地を中学校建設のために取得されました。当然、その後に中学校建設中止ということになりましたので、購入した土地の後の処理、中学校が建設がそのまま動いてればそのまま活用できたわけですが、それがかなわない、中止ということになったわけですので、まず公園化という形で、仮の対策だと私は思っています。当然、当初考えた中学校建設のための取得した土地ということで、まさにその町有地の有効活用、コストと施設整備、これはどちらも両立させていくべきだと思っておりますので、まだ具体的な設計から施設に関する費用等がまだ出てない中で、示された数字の中でいろんな御意見賜るのは構わないんですが、想像で何億何億というような数字を先走り、そういったことは、私は今の現時点では控えるべきじゃないかなと思っております。

まず大切にしたいのは、子供にとって安心安全。また、学びを育む環境を整える。このことが一番。なぜ中学校の統合、このことが一番、第一に置かなくちゃいけないことだと思っております。当然、投資という、今まで反対をなさった方々が借金という表現ですが、私は投資。この子供たちの学びを守るという投資は、将来の町を支える最も重要な施策の一つであり、教育こそが未来をつくる最大の投資であると信じてます。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） そのことを去年の選挙のときに言えると、すごい町長になれると思いましたがね。次の質問に行きたいと思います。

次の質問は、またそのことに関係があるんですけど、保育所の南側の芝生の広場、きれいですね。草刈りした後見たら、本当にぱっとあそこで走って何やかんやしてみたいような広場です。今、グラウンドゴルフ協会があそこで大会やらもしたいと、グラウンドゴルフがしたいと。あの運動公園でやると凸凹で、サッカー場でやると凸凹で、本来のグラウンドゴルフの技術がうまくいかないと。あそこで大会をやりたいという声があるんですが、あそこでグラウンドゴルフ大会ができるには、トイレの整備が必要だと思うんですけど、町長どのように考えていらっしゃいますか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野禎明議員の質問にお答えします。

グラウンドゴルフの利用については、大会、大きな大会等についてはしっかりと対応していきたいと考えてます。仮設トイレ等を含めて対応していきたい。

ただし、河野議員がおっしゃるようにトイレの建設、それからグラウンドゴルフ会からも休憩所の建設等の要望が参っておりました。このことについては、教育委員会のほうから答弁で、学校建設の予定地であり、限られた期間の使用期間が限定される中で、新たな箱物を造るということに対しては非常に厳しいと。また、利用者の方々の思いに対しては、使える期間が限られますが、しっかりと対応していきたいというような答弁だったと思い

ます。

今の芝生はきれいな芝生のところから1つ敷地の中にトイレがあるわけですけど、それでは大会では間に合わないということであれば、その大会の期間中の仮設トイレ、また日常使われる方々にとっては、芝生場から上の道路に上がられる階段を造りたい。これは仮設になりますけど、取り外しができるように。そこから現在の教育委員会、そして川南図書館のトイレの利用につながるような整備を行いたいと考えております。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 確認ですけど、あの芝生広場から例えば教育委員会のトイレを利用する、図書館のトイレを利用するために、あそこの芝生から道路に渡るスロープか階段、何かを用意されるということでしょうか。

○町長（宮崎 吉敏君） 今回の議会の議案の中にも階段、スロープ等で工事をかけてというのは非常に費用がかかります。ではなくて、芝生公園のほうから上に道路に上がられる階段を仮設で造りたいと思ってます。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） それは非常に助かりますね。ちょっと私も考えたんですけど、大会をしたとき休み時間をちょっと長く取れば、図書館のトイレも利用できるし、大会ができるかなと思います。やっぱり仮設トイレだと、よそから来られた方にあまりにも失礼だなと思いますね。それはよろしく願いいたします。

次は、5年後、10年後の生徒数を考えた小中一貫校。私は選挙のときからも、中学校だけの建設じゃなくて、小中一貫校を考えましょうということを選挙でもずっと言ってきました。これはもうはっきりしてますね。この生徒数です。コロナが発症してから1年間の出生数は約60名です。60名。この前どなたかと話してたら、大変なことが起きてます。最初に保育園です。今10カ所ぐらい保育施設がありますが、60名だったら、この半分しか要らなくなるのかな。小学校も5カ所要らなくなる。この出生数60名。これ回復しません。今度は50名台になる可能性があります。となると、10年後は小中合わせて約600名です。町長、この生徒数が理解できますか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野禎明議員の御質問にお答えします。

今議会内でも一般質問の中で人口減少等について御質問をいただきました。出生率、出生数、非常に川南町も厳しい状況にある。そのように理解しております。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 今10年後が小中合わせて大体600名が予想されるということなんですね。そこにまた大問題が起きたんです。来年から始まるんですけど、高校の無償化です。これで何が起きるかといったら、町内の中学生、中学生の親は子供をいい大学に出すにはどうしたらいいのか。―[発言取消]―宮崎の私立高校、そこに中学校から出す。これが起きるんです。来年の4月からです。今町外に流出しているのが約10名ぐらいだと

思うんですけど、これが来年の4月20名になるかもしれません。30名になるかもしれません。となると、この10年後の600名の中から、中学生は1年で20名もし減った場合、60名減るんです。600名から60名減ったら540名です。それ以上の流出があったら500名になっちゃいます。こういうことが現実起きてるんです。これを考えたら、行政は何をすべきか。6年後に中学校、令和13年に開校。それじゃないんですよ。教育委員会はああいうふうに言ってます、計画案で。いいです。教育委員会が言うのは勝手です。町長、あなたは違うんですよ。町の最高責任者ですよ。町の財政、これを守らないといけないんです。そうしたら、中学校だけ造る。70億、80億かけた。次、小学校が造れなくなるんですよ。小学校が造ればいいですよ。中学校だけ造ったら小学校は造れないんですよ。それよりも、8年後でもいいです、9年後でもいいです。小中一貫校を考えるほうが本当の正しい行政だと思いますが、町長どうでしょうか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野禎明議員の御質問にお答えします。

今様々な過程の中で不安がということのお話だったと思います。そのことも当然考慮しなくちゃいけないかなとは思いますが、逆に、私に届いている言葉の中には、来年4月開校が中止になったということは、自分の子供様が中学校に上がるというときにはできない。川南町で新しい中学校が建設されないということであるなら、選択肢としてしない。ほかの中学校に行かざるを得ないというようなお言葉もいただいております。非常に残念なことなんですが、私はより早くスピード感を持って新中学校の統合を進めていかなきゃいけない。

ただ、今の諸般、様々な状況の中で建設会社等の専門的な話をお伺いすると、非常に建設までに至る期間というのが厳しい。このことは、様々な課題がまた新たに発生してる。環境についてもですね。ですから、今回、どうか皆様も御理解をいただいて、川南町の中学校統合に対する基本計画を早急に御審議いただいて、賛同いただければスピード感を持って先に進めていきたい。このことが私に与えられた最大の課題であると認識してます。

以上です。

○教育長（平野 博康君） 私のほうからも少し補足をさせていただければというふうに思っております。

河野禎明議員のおっしゃったように、宮崎市内のほとんどの私立の高校が附属の中学校を持っておりますので、来年度からの私立高校の授業料無償化に伴い、どの程度本町の中学生に影響を与えるのかということについては、注視をしていきたいというふうに考えております。

新中学校を整備するに当たっては、中学生の町外への流出を食い止められるような、ハード面・ソフト面に魅力のある学校を整備しなければならないというふうに決意を新たにしているところでございます。

中学校の統合につきましては、教員の確保や指導体制の整備などの理由から、早急に進

めていく必要があるというふうに考えております。一方で、小学校の統合にはより丁寧なプロセスと時間が必要であると判断し、まずは中学校の環境整備を優先することといたしました。

議員がおっしゃいましたように、今後児童生徒数の減少に伴い、将来、いずれは町内に小中一貫校として一校となる時期が来ることを想定しなければならないというふうに考えております。今回、新中学校を整備するに当たっては、将来的な小中一貫校を視野に入れた学校を整備する方向で検討していきたいというふうに考えております。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） まさに教育長が早急にしないといけない。本当なんです。令和13年開校だったら、早急じゃないんです。だから、今早急にするということは、教育長、行動を起こさないといけないのは、こういうことなんです。取りあえず唐中にプレハブ、今プレハブはいいからですね。この前どっかで、プレハブだと学校が荒れるとかいう発言があったけど、とんでもない。プレハブはいいです。唐中に統合して、今問題が解決できます。そしたら、唐中って環境がいいから、負けません。中央とも負けません。8年後なら8年後に小中一貫校の建設を考えれば、これは町民が考えてもすばらしいと、そうなります。あそこに中学校を建てる。建てる建てるといったって、令和13年じゃないと建てない。その間は中学生は今のまんま。そうじゃなくて、取りあえずやろうと思ったら唐中に統合できるんです。今の人数からいったらできますよ。どうでしょうか。

○教育長（平野 博康君） 先ほどの答弁でもお話しさせていただきましたように、どこに中学校を設置するかということについては検討してまいりました。現在の唐中の校舎等の状況でありますとか、あるいは中央部の教育環境でありますとか、総合的に判断し、やはり中央部が望ましいということで、先ほどの私立の中学校への進学等も含めて、やはり魅力的な学校を造らないと、子供たちはここに来たい、親にとってはここに通わせたい、そういう学校にはならないというふうに考えておりますので、確かに多少時間はかかりますけれども、中央部に設置したいというふうに考えております。

以上でございます。

○議員（河野 禎明議員） そうですね、この議論はなかなか延々と続くので、ちょっと次の質問に変えたいと思います。

乗合タクシーの早期導入についてです。

都農、木城町に問い合わせました。ちょっとやり方が違いますね。木城町はタクシーを1日借り上げてました。そして、利用者が利用する。1回200円かな。そして1日3万円とかの借り上げ料を払うというやり方でしたね。

都農町が非常に参考になりました。都農町は1回が300円ですね。そしてタクシー料金は普通料金で、タクシー会社が運行した料金を町に請求します。その中から、大体月8万ぐらいだそうですけど、利用者は1回300円払えばいいわけですね。思ったのは、3人乗っ

ても300円でいいんだそうです。これ物すごく安いですよ。それで、前日予約ですね。そして、なおいいのは玄関まで来てくれるということです。これが川南の人は一番困っていることです。今のタクシー券では全くサービスになってないんです。乗合タクシーにもなってないですね。これを都農はやってるんです。なおいいのは、免許返納者に対しては無料なんです。タクシーが無料なんです。都農は高齢者天国です、天国。川南の人は地獄とまではいかんけど、それに近いです。町長、このままではまずいでしょう。これは町長の決断で先に進めるべきじゃないでしょうか。

○議長（中村 昭人議員） すみません、一旦ここで休憩挟みたいと思います。しばらく休憩します。10分間休憩いたします。

午前10時02分休憩

.....
午前10時12分再開

○議長（中村 昭人議員） 会議を再開します。

休憩前に引き続き、一般質問を続行します。

○議員（河野 禎明議員） 乗合タクシーの件ですね。

町長、あまりにも差があるんです。タクシー券、初乗り610円、すぐなくなるんです。また、下手したら1,000円とか払わないといけないんです。回数も少ないんです。枚数ですね。もうとんでもない差があるんです。都農、木城、高鍋、調べたら、この差はもうひどいんです。もう免許返納者が無料でタクシーが使えるとか、都農町、これぜひ来年度予算にこれを川南町は取り入れて、高齢者がこれはいいと、川南に住んでいてよかったと思えるような町にしたいと思うんですが、町長の意見をお伺いしたいと思います。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の御質問にお答えします。

川南町、現段階では、玄関まで来る乗合タクシーの導入については考えておりません。ただし、様々な環境等を考慮する場合には、今後検討課題とすることはあると思います。以上です。

○議員（河野 禎明議員） ぜひ職員の方たちとも打合せをして、来年度からこれはもう導入するのが当たり前です、これは。町長は、昨日も町民のサービスということを言われているんです。このサービスの中で乗合タクシーは非常に重要な位置です。この前の商工会との話し合いの中でも、これをものすごく言われました。10時以降にタクシーが動かないっちゃ。動かない、そしたらスナックとか夜のお店はものすごく困る、打撃を受けている。これを解決するにはどうしたらいいか。これを解決するにはまた乗合タクシーじゃなくて、一日借り上げ方式のタクシーということも考える必要があると思うんです。だから、いろいろアイデアを出し合って、川南の町を足をどうやって確保するか、これを考えていただきたいと思います。

次の質問に移らせていただきたいと思います。

スマートインターですね。スマートインターと工業団地、このことですね、スマートインターと工業団地です。

町長は、スマートインターの計画が、前の町長が挙げていたやつが、しないということですけど、私、これ不思議だなと思うんです。令和5年7月27日、川南まちづくり株式会社の役員会において、その中でスマートインターをつけられないかという要望があり、一度県に話を聞いて、その報告が川南町長からあり、役員からは、実現するとすばらしいという役員会での話合いの議事録にあっていそうですね、載っていますね。そのときの議長が宮崎さんですね。当然、まちづくりの社長でしたね。スマートインター、道路はあるんですよ、あとゲートの問題じゃないかと思うんですよ。予算が幾らかかるのかもちょっと私は知りたいなと思うんですけど、新富なんかと違って、予算は少なくて済むと思いますよ。スマートインターができて、あの周辺に農振地区の畑、ある人が持っている3町という畑がありますよね。あれ農振地区、県にちゃんと要請して、工業団地としてちゃんと手続をすると、工業団地となる可能性もあるんですよ。今、工業団地がないんですよ、川南に。なかったら、話が来ても話が進まないんですよ。

もう何年か前かな、南薩食鳥というのが町の役場に来て、土地を世話してくれんか、紹介してくれんか、役場が紹介しない、南薩食鳥はどうしたかということと高鍋に行きました。そういうことなんです。工業団地を早急に用意しないといけないんです。

それにはスマートインターの近くだと、あの高速を通る人が、あの工業団地もし見れたら、ここに工場を造ったらいわとか、そういうことが起きるんですよ。どうでしょうか、町長。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の御質問にお答えします。

本町は、東九州自動車道に面する自治体であります。お隣の高鍋町及び都農町のようなNEXC O西日本が整備したインターチェンジはございません。しかしながら、その設置場所におきましては、どちらも本町との境目付近に存在しており、捉え方によりますが、本町は2つのインターチェンジを効果的に活用できる好循環にあると認識しております。

御質問のように、P L A T Z（ぷらっつ）付近にスマートインターチェンジを整備する考えはないかとのことですが、当該近隣地域は農業振興地域です。また、畑地かんがい事業の受益地となっている農地も多く、農業振興地域の整備に関する法律上の農用地区域に指定されております。加えて、工業団地として整備する場合の造成費等も算出されておりますが、数十億円規模の高額な投資が想定されます。同時に、仮に整備した場合の経済効果等も不明であります。よって、様々な面を考慮しますと、P L A T Z（ぷらっつ）付近の工業団地化、並びにスマートインターチェンジの整備は、現状は困難であると思っております。

最後に、新しい工業団地の場所につきましては、今後も引き続き検討を続けたいと考えております。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 町長、中学校とスマートインター、工業団地、はかりにかけてください。どっちが町の発展に役に立ちますか。人口減に役に立つのはこっちじゃないですか。スマートインター、工業団地、こっちのほうがはるかに効果があるじゃないですか。今、ふるさと納税で町は財政的に潤っていますよ。この金の使い道ですよ。中学校をして人口減解消、あまり効果は出ません。こっちのスマートインター、工業団地、こっちのほうに投資するべきじゃないですか。そう思いませんか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の御質問にお答えします。

教育とスマートインター、工業団地、はかりにかける。私にとっては、今現在、最優先すべきは中学校建設であると捉えています。

今回、本会議に議案を提出いたしました。まず、将来を担う子供たちの教育環境を育てる、これが先ほど私も言いました、教育こそが川南町の未来に対する最大の投資である。本来、このことを比較すること自体が好ましくないと思うんですが、まず新中学校建設を最優先したいと考えております。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 私は、人口減対策が、今、町の一番の課題だと思います。農振地区のことは、前の鶏ふん発電所を建設するときにも、あそこは農振地区で、内野宮町長かなんかが、これはできないとかいう流れだったんだそうですけど、県のほうにどなたかがかかり合って、結局、鶏ふん発電所ができたというような経過があるみたいですから、工業団地にやろうと思ったらできないことはないわけですよ。

今、町長の答弁を聞いていると、私は非常に不思議なんですけど、町長は中学校のことだけしか考えていないのかな。小学校、この小学校6年間、非常に大事なんです。あの小さい小学生が6年間、あの成長期、これ中学校だけ造っておいて、小学校は極端に言うてもう放ったらかしですよ。こんな状態でいいんですか。

○町長（宮崎 吉敏君） 河野議員の質問にお答えいたします。

先ほど答弁の中でも申し上げました、また教育長からも申し上げました。小学校のことについては、今後、中学校建設を行う過程で、将来的に生徒数が減るということも含めて、並行してまず考えていきたいと。そういった教育長の先ほどの答弁がありました。そのことが全てであります。

また、工業団地については、昨日の一般質問の中で徳弘議員からの御質問がありました。今現在、川南町にとって本当に必要な工業団地の検討に入っているところです。昨日の答弁でも言いました農振地がかかっているところの工業団地というのは、非常に大きな壁があり、皆さんの意見を賜りながら進めていきたいと。今、河野議員がおっしゃっているのは、P L A T Z（ぷらっつ）の工業団地ということですが、工業団地の選定をしていただいた中で、川南町の中でこういった場所に工業団地をとというのが10例ほど挙がっておりま

す。その中にP L A T Z（ぷらっつ）周辺の場所については挙がっておりません。工業団地については慎重に進めていきたい、そのように考えています。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 企業誘致に関して、担当者がいますかね。

○産業推進課長（河野 英樹君） 河野議員の御質問にお答えします。

企業誘致の担当者がいるかという問いでございますが、担当者はおります。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 企業誘致の過去5年間の実績について、お伺いしたいと思います。

○産業推進課長（河野 英樹君） 河野議員の御質問にお答えします。

企業誘致の過去5年間の実績でございますが、令和2年度、3年度、4年度、5年度、6年度、過去5年間の実績は4件でございます。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） この4件の中で、企業の川南の決まったところがあるのでしょうか。

○産業推進課長（河野 英樹君） 河野議員の御質問にお答えします。

5年間の実績が4件ですと申し上げております。決まった実績でございます。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 今の企業誘致が決まった数だったんですね。分かりました。ということは、いろいろ打合せ、勧誘とか、そういうことは何十件にわたるということですよ。その中で4件決まったということですか。それで了解していいですか。

○産業推進課長（河野 英樹君） 御質問が企業誘致の過去5年間の実績を問うと言われましたので、過去5年間では4件、川南町に企業が来られたということを申し上げております。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 決まった企業名は、今、ここで公表はできるのでしょうか。

○産業推進課長（河野 英樹君） 河野議員の御質問にお答えします。

まず、令和2年度から申し上げます。センコービジネスサポート株式会社、場所は番野地のところですね。次に、令和4年度、株式会社ハートアセットマネジメント、これはホテルカワミーナを運営する会社でございます。令和6年度、株式会社松永商事は山口整形外科の前にある運送業の企業でございます。最後4件目が株式会社スカイパレード、サテライトオフィスとして誘致をしております。

以上です。

○議員（河野 禎明議員） 企業誘致、勧誘、大変でしょうが、これからもぜひ頑張りたいと思います。

以上で質問を終わりたいと思います。

(午前10時33分 終了)